

めたせこいあ



令和 6 年 6 月 21 日発行

西東京市立向台小学校

042-464-2112

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-mukoudai/>



『演技発表会について、たくさんのご意見ご感想ありがとうございました』

校長 鈴木 壮平

いつも本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

6月1日の演技発表会について、約300のご意見ご感想をいただきました。ご多用のところ、本当にありがとうございました。いただいたご感想ご意見を整理しますと以下ようになります。

- 子どもたちの成長を感じることで演技・競技を参観することができ有意義だった。
- 昨年度の演技発表に加えて、団体競技を実施したことにより、子どもたちの体験が広がった。
- 表現種目は学年が上がるにつれて、高度になり、学年の違いが感じられた。
- 子どもの負担、参観する保護者の負担を考えると午前中開催でちょうどよかった。
- 学年を入れ替えて発表することにより、参観しやすかった。
- コロナも5類になったので、コロナ前の運動会に戻してほしい。
- リレーや徒競走など、他の種目も同じ日に参観したい。
- 他校が運動会で実施している中、本校はなぜ「演技発表会」なのか疑問である。

4月の保護者会や6月の学校だよりで、演技発表会のねらい等をご説明してまいりましたが、今回のご意見ご感想をふまえ、改めて、今年度の演技発表会について、そのねらいや内容の設定理由について、次のとおりご説明いたします。

1 本行事のねらいについて

演技発表会は学習指導要領の「健康安全・体育的行事」に位置付けられ「心身の健全な発達や安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること」がねらいです。その上で、取組の成果を地域・保護者の方に披露し、応援や励ましをいただくことで、達成感を味わい、成長につなげることを意図しています。当日や当日にいたる過程をとおして、ねらいを達成できたと考えております。

2 「演技発表会」という名称について

新型コロナウイルス感染症対策下で行う学校行事では、集団での活動が制限されていました。本校は、運動会を体育の表現運動等の成果を披露する形にすることで、感染症対策等の安全面を確保するとともに表現運動等の成果発表という内容が伝わるように運動会の名称を「演技発表会」と変更しました。今年度についても、表現種目に加えて、団体競技を増やしましたが、徒競走など走の運動の成果を10月に披露するため、そのまま「演技発表会」といたしました。ただ、表現種目と団体競技の2種目を行う内容を反映した名称だったかどうかは課題があると認識しています。

学校便り臨時号 本校は「誰もが安全に、安心して学ぶことができる学校」をめざします。

3 午前中開催、各学年2種目について

学校の教育活動で第一に優先すべきことは、安全です。取り返しのつかない大きな怪我や熱中症等につながるような活動にならないよう教育活動を計画しています。また、本番で観客が喜ぶものを披露するという期待を大人の思いだけで計画することは、子どもたちに過度な負担やプレッシャーを与えることにつながります。そういった昭和や平成前期に当たり前に実施してきた学校行事のあり方が、平成後期や令和の学校教育では大きな事故等をきっかけに見直されています。一つの例として、組体操による大きな怪我により、高さや見栄えを求める全員ピラミッドやタワーは、全国的に禁止され、本市においても、地面に足のついていない土台の上に人を乗せてはいけないというガイドラインが示されています。また、種目を増やせば、その分の練習が必要となり、過度に授業時間を使ったり、朝練習や休み時間、給食準備中といった時間も練習に費やしたりすることで学校生活に影響を与えます。その影響は、子どもたちの安心を奪う可能性も出てきます。このような懸念から、今年度は表現種目に加えて、団体競技を増やすことにとどめた次第です。

ただし、安全と同様に、子どもたちに多様な体験を味わわせることも学校教育の大切な役割です。安全に配慮し過ぎるということはありませんが、安全の確保と多様な経験のバランスは重要だと考えています。引き続き、本校の環境や子どもたちの実態、地域・保護者の方の意見をふまえ、内容を検討してまいります。

4 当日の児童の参観等について

本校は市内で2番目に児童数の多い学校であるとともに、南校舎の増築により、校庭が広くはない環境です。保護者の方にも安全に参観してもらえよう、当日は子どもたちが校庭に椅子を置いて他学年を参観することは控えました。ただ、他学年の演技や競技を子どもたちが参観することは、上学年の姿に憧れや進級への意欲を高めたり、下学年への思いやりや自身の成長を実感したりできる貴重な機会です。今年度は、2日前に「リハーサル」と称して、全校の子どもたちが校庭に椅子を出し、全学年がお互い見合う場を設定しました。ただし「リハーサル」ではなく、例えば「本番1回目」という名称や位置付けにした方が、より見合うことの価値が高まる場になったと反省しております。

以上のような、考え、意図で今年度は「演技発表会」と称して体育的行事を実施しました。多くの応援や励ましにより、子どもたちの成長につながる行事になったと考えております。今後も皆様からいただいたご意見ご感想も生かしながら、学校行事の形を模索していくとともに時代に合ったよりよい学校運営に努めてまいります。引き続き、ご理解ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。



おかげさまで青空のもと、実施できました。